



【文庫蔵】 明治 35 年（1902 年）上棟。
土蔵造 2 階建 鉄板葺

文書などを収める置屋根形式の土蔵で、渡り廊下で和館と接続する。腰壁に石積風の目地を切り、黒漆喰仕上げの軒蛇腹に渦紋の飾りをつける。

【米蔵】 大正 2 年（1913）上棟。
土蔵造 1 階建 鉄板葺

文庫蔵と同様に置屋根形式の土蔵で、蔵前をつけ、外壁は漆喰で仕上げる。
文庫蔵より造りは簡素である。

後方より見た文庫蔵（左）と米蔵（右）

国指定 重要文化財有形文化財（建造物）

金家住宅

お願い

- 指定された金家住宅のうち、和館（市管理）を除く建物は現在も住家として使用されているため、一般公開されておりません。
- お住まいの方のプライバシー保護のため、敷地内（門より内）への立ち入りについてはご遠慮ください。
- 市管理の和館も常時一般公開しておりませんが、定期的な公開を予定しています。公開の際は、市広報・ホームページなどを通じて事前にお知らせします。



洋館正面外観

お問い合わせ

北秋田市教育委員会 生涯学習課

0186 (62) 6618
月曜～金曜（8 時 30 分～17 時 15 分）

北秋田市教育委員会 生涯学習課

国指定 重要文化財有形文化財（建造物）

金家住宅

所在地 北秋田市本城字館の下 192 番地

指定年月日 平成 20 年 12 月 2 日

指 定 洋館・和館・文庫蔵・米蔵・土地（表門・石垣を含む）



洋館 1 階サンルーム

【洋館】昭和 3 年（1928）竣工。木造 2 階建銅板葺

印象的な急勾配の大屋根に切妻破風と正面に突き出た屋根窓（ドーマー・ウィンドウ）をつけ、1 階を下見板張、2 階をドイツ壁、妻壁をハーフティンバーとする。1 階西側と 2 階南側にはサンルームが設けられている。

終戦後の数年間は、大野岱女子農業学校（現・県立米内沢高等学校）の女子寮として使用された。

※ドイツ壁：モルタルを吹き付け、粗く仕上げた外壁の様式。

※ハーフティンバー：柱や梁を外に見せ、漆喰やレンガで仕上げた外壁の様式。

【和館】昭和 3 年（1928）竣工。木造 2 階建鉄板葺（元は銅板葺）

洋館とは対照的なむくりをつけた入母屋屋根で、2 階建の廊下を付属し上下階で洋館と繋ぐ。当家の山林から調達した良質な秋田杉を用い、「金」の字を模した欄間の透彫や座敷飾りなど、細部まで丁寧につくられている。2 階の縁は極力柱を省き、座敷から周囲の田園を広く望む。庇縁の八間通しの軒桁（杉丸太）は圧巻である。

昭和 42 年に旧森吉町に寄贈され、近年まで地区的公民館として活用された。



洋館壁面のデザイン



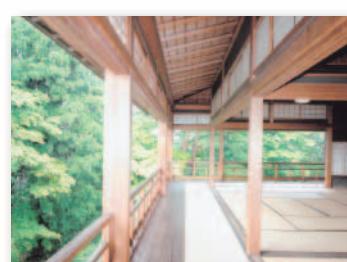
洋館漆喰塗天井の装飾

和館 2 階大広間



欄間の「金」の字の意匠

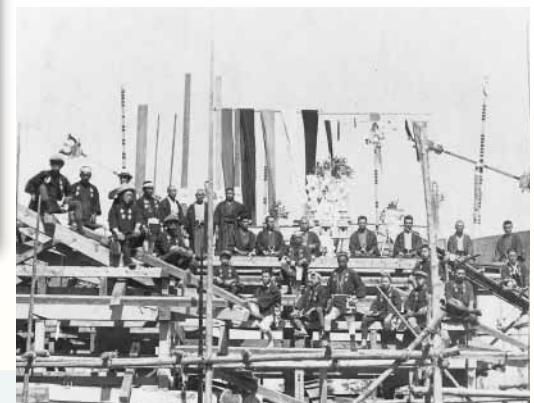
和館 2 階大広間書院



和館 2 階入側縁



入側庇天井と
八間通しの軒桁丸太



和館上棟式の様子



和館正面外観